

ラダー	【2010年度】	初期評価	最終評価	
	レベルⅣ	月 日	月 日	
		評点	評点	
看護師の状況	1. 看護職員の方向付けや育成を行い、看護部門の目標達成に貢献する 2. 臨床実践・管理・教育・研究等において専門性を追求する	自己/師長 4・3・2・1	自己/師長 4・3・2・1	
到達目標	1. 患者の生命や人権を尊重できる看護師を育成できる。部署において教育的かかわりが取れる 2. 看護の質を向上させるための変革的行動がとれる 3. 看護部あるいは病院の方針に基づいた部署目標達成のために活動できる 4. 創造的な看護実践ができる			
臨床実践能力	情報収集	・問題の領域に的を絞り、選択的に情報収集できる		
	問題の明確化	・看護領域にとらわれない幅広い知識や経験をいかし、状況の全体像を瞬時に直観的に判断し、問題を抽出できる ・起こり得る問題領域にしぼって注意を集中することができる		
	計画立案	・状況の全体像を瞬時に捉え、直感的に実践できる ・患者や家族の生命倫理と現実とのジレンマを察知し、意思決定を援助することができる ・医療チームの調整役として看護に限らず計画をたてられる		
	実践	・看護実践において、他の医療メンバーの人的資源となることができる ・直観的に行為を選択できる ・偶発的な出来事に対してリーダーシップを発揮し、速やかに対応しつつ、派生する問題を予測して行動できる ・対象が気付いていないニーズを明らかにし、充足することができる		
	評価	・患者・家族のケアに対する反応を正しく捉え妥当性を評価することができる		
	自己啓発研究能力	教育	・指導者を指導する ・自己の専門領域に関する教育プログラムを計画・実施し、評価した結果をもとに変革する ・看護部全体の教育活動を支援し、推進する	
	研究	・自らの研究テーマを持つ ・チームでの看護研究活動を進め、院内外に発表する ・実践報告などを投稿する		
組織役割遂行能力	職場	・病院の理念・看護部の方針を理解しながら、看護管理上の問題の発見と解決に取り組むことができる ・職場の目標設定にかかわり、達成に向けて具体策を推進し評価できる ・スタッフの個々のキャリア開発に対して助言できる		
	倫理	・生命倫理と現実のジレンマに遭遇している患者。家族の精神的苦痛を受け止め、意思決定を助けることができ、医療チームの調整ができる		
	チーム医療	・関連各部門、他職種の連携を強化し、協働して改革できる		
	接遇	・接遇の本質を理解して対象に接することができる ・職場全体の接遇の向上に貢献する		
	医療安全	・リスクマネジメントに関して深く理解し、医療紛争の本質を理解した上で、安全対策や事故処理に積極的に取り組むことができる		
	経済	・医療経済を理解し、状況を判断しながら、積極的に職場・看護部・病院の改革に参画する		